

活動報告

『松井の寺社を訪ねるコース』

記 令和元年12月6日 小野 慎二

活動日 令和元年12月5日(木) 活動場所 松井地区 9:30~13:30

参加者 19名

★はじめに

12月は当初「柳瀬川源流 根古屋城跡をめぐる」を予定していましたが、根古屋城跡近辺は立ち入り禁止区域に指定されており、見学不可能であることが判明。

このため過去の散策実績の少ない市内東エリアをコースに選択しました。

秋津駅北口には降り立ったことがない方が多く、新しい発見を求め、比較的暖かな初冬の一日を有意義に過ごしました。

★散策コース

秋津駅北口 ⇒ 上安松地蔵尊 ⇒ 長源寺 ⇒ 安松神社 ⇒ 東川桜並木 ⇒ 牛沼神明社・牛沼市民の森 ⇒ 木村・徳田両中尉墜落地 ⇒ ちとせ(昼食所) 解散

★配布資料

- ①コースマップ ②長源寺、安松神社、富士塚の案内 ③東川桜並木、牛沼神明社・牛沼市民の森、木村・徳田両中尉墜落地の案内 ④所沢古道の地図



上安松地蔵尊



長源寺

☆長源寺

- ・山号…安松山・宗派…曹洞宗・所在地…下安松、秋津駅北口から徒歩 10 分
- ・開基…北条氏照の養父「大石源左衛門定久」
- ・開山…北条氏が大旦那となり「僧 傑用徳英」が曹洞宗寺院として開山
- ・創建…元亀 3 年(1572 年)
- ・本尊…薬師三尊仏像(薬師如来・日光菩薩・月光菩薩)
- ・ご朱印状…天正 19 年(1591 年)10 石を拝領 この年徳川家康が来訪している

○所沢市指定文化財

- ・四脚門(四つ足門とも呼ぶ) 江戸時代後期の建築と推定される
主柱左右二本の前後に、やや細めの控柱を二本ずつ、計四本の控柱がある形態
屋根は反りを持つ瓦葺(反り破風) 棟を中心にして前後に勾配を付けた切妻造り
軒下には優れた彫刻が施されている。

◎この時の日本史

元亀 3 年… 三方ヶ原の戦いで徳川家康は武田軍に敗れ落ちのび、この時の教訓を忘
れないため、肖像画に残している
天正 19 年 豊臣秀吉の天下統一、閑白から太閤になる。千利休が切腹。浅間山大噴火

☆ 安松神社

- ・歴史は浅く、大正 3 年に安松地区の各所にあった、稻荷社二社と氷川神社 神明社
日枝神社の六社を、隣の長源寺の山林を買受けて元の社殿の一部を移築して社号も
「安松神社」とした。御祭神は天照大神。六社は隣に祀られている。
- ・昭和 26 年の火災により焼失し松井小学校の奉安殿を本殿としたが、老朽化に伴い
昭和 46 年に現在の社殿に造り替えた。
- ・毎年 4 月 22 日には、氏子の乙女による巫女の舞が奉納される。
- ・境内に富士塚があるが、古文書などなく詳細は不明



☆東川桜並木

- ・東川沿いに約 5 kmにわたり、約 800 本の桜並木が続き、季節には大勢の見物客が訪れます。ライトアップされた夜桜も見ものである。この日は一本の寒桜が満開の花を咲かせていた。

☆牛沼神明社

- ・所沢神明社より分社したものといわれ、ご神体は石棒で「直径八寸、総丈六尺位中程にて折れる」と記載されているが、創立を示す古文書はない。御祭神は天照大神
例祭は 4 月 16 日で巫女舞奉納、新入学児童の入学奉告祭が行われている。

☆牛沼市民の森

- ・市内で 4 番目の市民の森。1.34 ヘクタールの面積があり、貴重な樹林地を保全するとともに、自然環境を憩いの場として提供している。

☆ 木村・徳田両中尉墜落地



- ・大正 2 年 3 月 28 日、陸軍省は青山連兵場で貴族院・衆議院議員を対象に観覧飛行を行い、帰路両大尉が搭乗したプレリオ機は、所沢飛行場を目前に突風を受け墜落、両中尉は即死した。一周忌に当たる翌年 3 月 28 日に銅像記念塔の除幕式が挙行され、その後記念塔は何度か移転を繰り返したが、昭和 56 年、航空公園内に移され現在に至っている。

終わりに

ところざわ ウォーキングナビ ③ 東エリア「航空発祥の歴史と松井の神社を訪ねる」コースを是非歩いてみてください。知らなかつた地域が見えてきます。

今回の担当 B グループ 大野 小野 三島